

Motto! Shimamoto!

平成28年12月9日発行

島本町小中一貫教育推進協議会 事務局

◆小中合同授業研究会が行われました

11月17日、島本町小中合同授業研究会が行われ、国語科（一中）、算数数学（四小）、技術家庭（二小）の三分科会で公開授業・研究協議が実施されました。研究会当日の様子を報告いたします。



【国語科】

【授業者】辻本 芙実（一中）

【指導助言】大阪教育大学 教授 住田 勝 氏

【研究授業】

『君は「最後の晩餐」を知っているか』（光村図書2年）は、名画を対象に捉えながら、筆者のものの見方や価値観などが述べられている評論文である。本時では、「筆者の鑑賞文を参考にして、班で鑑賞文を添削し、見に行きたくするような文章を作成する。」をめあてとして授業を展開した。

筆者の鑑賞文で注目すべき工夫点を確認した後、各班に添削用の鑑賞文を配布し、付け足す言葉や削る言葉を色鉛筆で書き込んだり、より効果的な表現にするにはどのような言葉を用いたらよいか話し合ったりした。最後に、それぞれ添削してできたものを書画カメラで発表した。どの班もレベルの高い課題に真剣に取り組む姿や、添削するのが初めてであったにもかかわらずよりよい文章にするために意見を出し合い頑張る姿が随所に見られた。

【研究協議】

研究授業を終えて見つかった課題について授業者から話していただいた後、「研究協議」のテーマ「書く力を育むための取り組み」について、各校より報告を行った。さらに、参加者がグループに分かれ、テーマについて日ごろ自分たちが実践していることを交流しあった。

住田氏からは、**解釈**⇔**分析** これを活性化すること、即ち、個人的な体験で得た思い（解釈）を分かち合いたいと言語で捉え直し（分析）他者に語るためのレッスンをすることが国語科の役割であるという指導助言をいただいた。また、本時の授業については、小・中の説明的な文章は必ず「首尾照応」になっているので、書き初めと書き終わりに注目させる、読者を挑発するようなタイトル（題名）を考えさせる等の方法もあったのではというアドバイスもいただいた。



【算数・数学科】

【授業者】刀根 康博（四小）

【指導助言】京都産業大学 教授 牛瀧 文宏 氏

【研究授業】

面積「広さを表そう」の単元で、正方形や長方形では表せない形（アルファベットのL字形）になった時、面積をどのように求めたらいいかを考えさせ、複合同形（長方形や正方形を組み合わせた図形）の求め方を導き出す授業を実施した。

はじめに、『怪盗トーネの挑戦状』という設定で児童の興味を引いた。複合同形の面積を求める見通しを持たせるために長方形や正方形の面積の求め方を全員で確認した。その後、複合同形の問題を解き、解いたものを書画カメラで発表した。自分では考え付かなかった方法が発表された時、驚きの声と共に自然と拍手が起こり、深い学びとなった。最後に、知識が定着しているか確認するために練習問題を行った。

【研究協議】

多くの解法が出てくることを予想していたが予想外の素晴らしいものもあったと、授業者は振り返った。その後、指導助言者の牛瀧先生から、児童の気を引くような設定がよかったことや、発表時の文章の組み立てはどの教科でも大切にすべきであるということ話をされた。また、次期学習指導要領の内容として、「カリキュラムマネジメント」「教科横断的な視点」「アクティブラーニング」などの説明がなされた。

最後に、これからは授業を工夫し、教室の中でしかできない学びを実践していかなければならないと助言された。



【技術・家庭科】

【授業者】高橋 朋子(二小)

【指導助言】大阪教育大学 教授 鈴木 真由子 氏

【研究授業】

5年生の「ご飯とみそ汁とつくろう」の教材で、事前に冷蔵庫の中の食材を使って献立を考えるという課題を与え、グループで献立を考えさせた。その献立を5大栄養素の表に入れ、栄養士にアドバイスしてもらい、本時の授業ではそこからの改善点を考えさせた。始めに各グループが考えた献立を掲示し、改善ポイントを全体で確認した。他のグループの献立を参考にしながらグループで意見を出し合い、改善点を考える活動に時間を取った。改善された献立をそれぞれのグループが発表し、全体で交流を行った。脂肪の多い料理を他の物に代えてカロリーを減らしたり、食材にかぼちゃほうれんそうなどの緑黄色野菜を加えたりしてバランスの良い献立を立てることができた。

【研究協議】

授業者からこの題材では子どもたちが意欲的に活動することを大事にしたこと、始めに実際の食材を用意し、子どもたちのやる気を引き出したことが話された。「他者との協働を通じて自らの考えを広げ深める家庭学習について」のテーマで話し合い、全員が積極的に参加していた点や子どもたちの生活に密着していて良かったなどの意見が出された。鈴木先生からは、最初のみそ汁を与え、足りない物でおかずを考えるという2段階で考えると良かったのではないかと。また、ハイカロリー＝だめではなく量を抑えること、食材を足すだけでなく野菜をたくさん摂る工夫をすることも必要だという助言をいただいた。

